

「平成24年度 学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策」による改善結果

世田谷区立富士中学校

世田谷区立富士中学校 校長 小松 昌之

学校関係者評価委員会の報告

(回答を求めた項目)

学校の改善策

—学校関係者評価アンケートと自己評価報告書の分析の中から—

I 重点目標について

富士中では、今年度の重点目標として「教育の質の向上を図り確かな学力を育成する」「生活指導の充実に努め、豊かな人間性を育む」「地域教育基盤の確立と開かれた学校づくりを通して、思いやりの心と地域への感謝の心を育成する」の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。昨年度クリアしている目標に対して更に高い目標を定め、努力している様子が見受けられるのは大変良いことだと思います。しかし、高いレベルに設定してある数値目標をいかにクリアしていくかが課題として挙げられます。今年度は「分からない」という項目の数値を減らすための具体的な対策に取り組み、半数以上の項目を減らしたことは一定の評価に値します。

学校評価を踏まえて設定した重点目標及び数値目標において課題を残しました。特に、「思いやりの心と地域への感謝の心を育成するために、生徒の地域活動、ボランティア活動への年3回以上の参加率」を向上させるために、地域活動、ボランティア活動に対する生徒の理解度の高さを実践に繋げるための方策の工夫に取り組みます。

保護者や地域の方々が、教育活動への理解を一層深めていただくとともに、協力や支援を受けながら、教育活動の更なる充実にに向けた取組の工夫と改善に努めます。

学校の自己評価や学校関係者評価等の結果を踏まえて、重点目標及び重点目標に関連する教育活動について、数値による指標（数値目標）を設定し、教育活動の充実に取り組みました。「重点目標」の認知度は、保護者80%、地域98%であり、高い評価でした。「子どもたちの行動」に関わる肯定的評価は、保護者79%、地域94%でした。「生徒のボランティア・地域活動への年3回の参加」の達成率は、活動内容や時期を工夫したことにより、28%上昇しました。地域や保護者の肯定的評価は90%を超えました。「学習指導」では、保護者・生徒の肯定的評価は全ての項目で上昇し、生徒の「授業内容の理解」や「教員の分かりやすい指導」では、肯定的評価の平均が85%でした。保護者の「授業を通して学力がついた」に関する肯定的評価は、72%で目標とする数値には及びませんでした。

今後も重点目標の認知度を高め、数値の指標を明確にしながら教育活動を推進します。

II 地域とともに子どもを育てる教育について

地域運営学校に指定されて4年目になりました。挨拶運動やクリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、グリーンアカデミーをはじめとしたボランティア活動や代沢地区文化スポーツ交流会などを通じて地域との交流もあり、小中連携も計画的に行われています。小学校5校と富士中とで作られた世田谷9年教育ののっとり「富士の学び舎」の教育活動に広がりが見え

地域運営学校として、保護者・地域の方々の学校教育に対する声を反映させながら学校運営を推進します。また、義務教育の9年間で育てたい力・資質の実現に向けた取組を充実させ発展させるために、地域の人材及び教育力活用の工夫に努めます。併せて、学校協議会や地区委員会、諸便りなどを通して、保護者・地域の方々に学校への理解をより一層深め

<p>てきた状況も伺えます。より拡大を図るために学校協議会や地区委員会と深い関わりを持ち、地域の人材・教育力の活用を期待します。</p>	<p>ていただき、ご支援とご協力をいただきながら教育活動を推進します。</p>
<p>「地域との連携」の保護者・地域の肯定的評価は、全ての項目で上昇しました。さらに、「学校協議会」、「学校運営委員会」、「学び舎の活動」について、今以上に理解を深めていただくための広報に努めます。また、「ボランティア活動・地域活動」に対する肯定的評価は、保護者 93%、地域 96%でした。生徒の自主的な活動を支援する地域及び学校の体制は確立しています。地域や保護者の方々の協力を得ながら、地域とともに子どもを育てる教育の継続と一層の充実を図ります。</p>	
<p>Ⅲ 未来を担う子供を育てる教育について</p> <p>富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。昨年度までは授業時数が区内 30 校中トップクラスで、一年生は標準時数より 50 時間も多いという実績がありました。放課後学習・夏季補習教室や富士サタスタ（土曜講習）、朝授業（3 年生）等も定着しています。今年度の道徳授業地区公開講座では「命の大切さ」をテーマに取り上げました。学校教育における課題の「心の教育」の充実と「確かな学力」の向上に、保護者の高い期待に応えるべく、今後もたゆまぬ努力をお願いします。</p>	<p>本校では、「教育の質の向上」と「教育の量の確保」に努め、具現化に向けた様々な取組は本校の特色になっています。今後も、個に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、基礎・基本や自ら学び考える力を身に付けさせるための指導を充実させます。生徒にとってよりよい学校生活を送ることができるように、規律ある生活態度の育成や規範意識の醸成、より良い人間関係の構築等を目標とした指導に今後も組織的に取り組みます。</p>
<p>学習指導に関わる評価は、保護者・生徒ともに肯定的評価において昨年度と同様でした。生徒の豊かな心を育むために、より良い支援の在り方を追求するための取組を実践しました。併せて、年間 5 回の生活実態調査やスクールカウンセラーを活用して、生活指導上の課題や生徒のより良い人間関係づくりに向けた指導を展開しました。さらに、支援の充実を図るための取組を組織的に進めます。進路指導に対する保護者の肯定的評価は、全ての項目で上昇しました。今後も、指導の工夫と改善に取り組み、確かな学力と総合力の育成に努めます。</p>	
<p>Ⅳ 信頼と誇りのもてる学校づくりについて</p> <p>学校経営方針に示された目標が教職員はじめ保護者・地域に浸透し、学校運営の評価が高いのはなによりです。ゲストティーチャーの講義も毎年工夫されており、進路指導やキャリア教育とともに多面的な成長に欠かせない刺激を与えてくれています。スクールカウンセラーの認知度も安定しています。しかし、今年度は昨年度実績より授業日数が減ってしまった要因からくる様々な項目のマイナス数値(昨年度比較)もありました。</p>	
	<p>学校に対する保護者や地域の願いを理解し、学校</p>

	<p>経営方針に基づいた教育活動を推進します。生徒が自己の将来に見通しを持ちながら学校生活に臨み、自己実現に向けて意欲的に取り組むことができるようにするための指導の工夫として、ゲストティーチャーを活用します。また、個に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、スクールカウンセラーや関係機関と連携した指導をより一層充実させます。</p>
<p>学校経営に関する認知度の肯定的評価が保護者・地域とともに上昇しました。年3回の三者教育面談も定着し、個に応じた指導の充実を図りました。昨年度、課題となった「学校の安全性」については、全ての項目で肯定的評価が上昇しました。今後も安全な環境づくりに努めるとともに、学びの場を一層充実させるために、地域の方々やゲストティーチャーとの関わりを大切にします。</p>	
<p>V 教育環境の整備について</p> <p>ほとんどの教室にインターネット回線が導入され、エアコンもすでに設置されています。トイレの問題はまだ残りますが、老朽化した冷水器の交換など教育環境はかなり充実してきたと思われます。今後は全教室へのエアコンの設置が求められます。</p>	<p>老朽化した冷水機の交換につきましては、生徒会の活動を機に、PTAにご協力をいただき整備することができました。今後も教育環境の整備に向けた情報を家庭・地域の方々と共有し、区との連携を図りながら改善に取り組みます。</p>
<p>要望の高かった西側トイレ・階段の改修が、平成25年9月末に終了いたしました。日常の点検活動に努め、施設・設備の計画的な整備・安全管理及び改善に努めます。今後も、学校独自で改善できる内容は迅速に、区との連携が必要なことについては計画的に教育環境の充実を推進します。</p>	
<p>VI 学校生活全般について</p> <p>世田谷区では今年度より2学期始業が9月1日からはになり、昨年度より土曜授業を施行した富士中にとっては逆に授業日数が減りました。そのため、生徒達が楽しみにしている行事が余儀なく変更されたものがあり、アンケートの自由意見欄には生徒、保護者からも多くの意見が寄せられました。しかし、先生方も時間のなかでやりくりしながら開校記念日を授業日とし、工夫されています。質の高い教育活動を追及する日頃の努力に感謝いたします。行事変更につきましては生徒、保護者に十分な説明と理解を得る必要があるかと思われます。</p> <p>不登校の生徒は残念ながら全生徒数の3%みられますが、彼らの幸せな未来を応援していく姿勢をこれからも続けてほしいと思います。</p>	<p>今年度は、新学習指導要領実施に基づく年間授業時数35時間の増加と2学期開始時期の変更に伴う授業日数の減少のため、授業時数確保に伴う教育計画の見直しに迫られた年でした。そのため“変化”が様々な場面で求められました。今後も、“変わる(変える)こと”に対して、生徒・保護者・地域の方々に正しく認識していただくための説明を丁寧に行い、理解を得ながら教育活動を進めるように配慮いたします。</p> <p>学校教育の様々な場面を通して、個々の生徒が自己の持つ能力を十分に発揮できるように、個に応じたきめ細やかな指導の推進に向けて、これまで以上に組織的に取り組みます。</p>
<p>学校生活全般に関わる生徒の肯定的評価は、「学校生活が楽しい」が5ポイント、「中学校が好きである」が4ポイント上昇しました。落ち着いた環境の中で、個々の生徒が充実した学校生活を送ることができ</p>	

るように、組織的な指導の充実及び個に応じたきめ細やかな指導・支援に一層努めます。